

瀬戸川累層群中の超塩基性岩(3)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2011-08-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 鮫島, 輝彦 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00006071

瀬戸川累層群中の超塩基性岩 (3)

鮫島輝彦*

千谷好之助氏⁽¹⁾は瀬戸川統を上位より中山層、滝沢層、市之瀬層に分けたが、⁽²⁾⁽³⁾⁽⁶⁾⁽⁷⁾⁽⁸⁾⁽⁹⁾⁽¹⁰⁾⁽¹¹⁾⁽¹²⁾⁽¹³⁾⁽¹⁴⁾⁽¹⁵⁾⁽¹⁷⁾⁽¹⁸⁾⁽¹⁹⁾当教室で数年にわたり行って来た地質調査によると、瀬戸川累層群は安倍川流沿に北方に向けて広く分布していて、このような三つの層群^群(中山層群、滝沢層群、市之瀬層群)に分つ事は妥当であると考えられる。三層群のうち上位の二層群は下位層群を不整合関係で覆っているが、最下位の市之瀬層の下底は不明で、三倉累層群とは断層で接している。

静岡市美和足久保の滝沢層群の下底に近い所で、枕状構造を示す熔岩とそれに伴う石灰質凝灰岩の中から、多数の動物化石が見出され、これらを記載した水野篤行氏⁽⁴⁾は漸新世古期の動物群ではないかとした。

最近齋藤常正氏⁽²¹⁾は浮遊性有孔虫の研究によって、瀬戸川累層群・南縁の藤枝附近にこれを不整合に覆って分布する大井川層群逢来層の堆積時代を漸新世古期とした。これによると瀬戸川累層群は始新統又はそれより古い地層群を含む事になる。

掛川市北方の三笠層群⁽²⁰⁾中にこれを貫ぬく超塩基性岩の小岩体がある。変質がひどく原岩の性質を明かにし得ないが、含輝石オリブ岩である事は間違いない。この超塩基性岩は新在家緑色凝灰岩層を貫いているが、この地層からは森島正夫氏によって記載された *Lepidocyclina makiyamai* が産出する。齋藤常正氏によればこの *Lepidocyclina* の層準は、浮遊性有孔虫 *Gledigerincides bispherica* zone に当り、中新統最下位の Aquitanian に相当する。

瀬戸川累層群中の超塩基性岩体と三笠層群中のものを同一活動期に属するものとすれば、その貫入は新在家緑色凝灰岩の堆積後、即ち Aquitanian^o 又は Burdigarian に行はれたものと考えられる。

瀬戸川累層群中の超塩基性岩はすべて滝沢層群中にこれを貫いて現出するもので、地層の走向に伸長する巾数 100m、長さ数 Km の岩脈をなして断続的に現われ、島田市附近から安倍川源頭を超え山梨県下に迄連続している。

(図参照)

*文理学部助教授

この超塩基性岩は一般に少量の透輝石を含む頑火輝石オリブ岩で、70～100%蛇紋石化を受けている。局部的に透輝石濃集してオリブ石を殆ど含まぬ輝岩となっている場合があり、又炭酸塩化され菱苦土鉱と石英の混合物となっている部分も見出される。

朝比奈村青羽根の80%蛇紋石化された、含透輝石頑火輝石オリブ岩を分析した所、房総半島鴨川町のオリブ岩と近似しているが、鉄・マグネシアが少く、アルミナ・ライム・ソーダ及びニッケルが稍々多い。

Fe_2O_3 が多いのは蛇紋石化作用に伴う酸化のために、オリブ石の分解変質に伴って磁鉄鉱塵が生じている為で、蛇紋石化を受ける前の原岩には Fe_2O_3 は僅しか含まれていなかったものと考えられる。この事はノルム鉱物組成に大きな影響を与え、ノルム磁鉄鉱が著るしく多くなり、輝石・オリブのfs, fa成分が大変少なくなってしまう。

文 献

1. 千谷好之助(1929) 7.5万分之1 静岡図巾並に説明書
2. 六浦通玄(1953) 静岡市西北高山附近の地質について しずはた^ノ1. p21~29
3. 松本修一(1953) 島田市北方の地質並に火成岩の分布 卒論手記
4. 水野篤行(1956) 貝化石による九州古第三系の分帯・地調月報VCL.17. p26~270
5. 鮫島輝彦(1957) 瀬戸川累層群中の超塩基性岩(1) しずはた^ノ12. p17~20
6. 橋本行雄(1957) 薬科川下流北方地域の地質 しずはた^ノ13. p7~11
7. 神間貞吉(1957) 静岡市西方薬科川中流附近の地質 しずはた^ノ13. p16~20
8. 兼高靖之他4名(1958) 安倍川上流地域地質調査 しずはた^ノ15. p11~16
9. 萩野嗣人(1958) 朝比奈村青羽根における超塩基性岩に伴われる炭酸塩岩石 しずはた^ノ17. p20
10. 鈴木忠夫他2名(1958) 安倍川上流に見られる結氷風穴について しずはた^ノ17. p21~23
11. 大石守方(1959) 静岡県安倍郡大川村日向附近の地質 しずはた^ノ19. p22~27
12. 中山豊(1959) 静岡県安倍郡大嶽附近の地質 しずはた^ノ19. p28~32
13. 鈴木忠夫(1959) 静岡県安倍郡中河内川上流地域の地質しずはた^ノ19. p33~36
14. 兼高靖之(1959) 静岡県安倍郡大日峠東方の地質 しずはた^ノ19. p37~41
15. 工藤周一他2名(1959) 静岡県安倍郡大河内村中部の地質しずはた^ノ20. p17~23
16. 鮫島輝彦(1960) 瀬戸川累層群中の超塩基性岩(II) しずはた^ノ21. p15~17

17. 成瀬 達郎 (1960) 大河内村真富士山附近の地質 しずはた 22. p15~19
 18. 春田 博男 (1960) 藤枝市北方の地質 しずはた 22. p20~28
 19. 工藤 周一 (1960) 静岡県安倍川上流大河内川流域の地質 しずはた 23. p18~25
 20. 氏家 宏 (1958) 相良・掛川堆積盆地の地質構造 日本地質学会総会討論資料
 21. 斎藤 常正 (1960) 静岡県島田・掛川市附近の第三系とその浮遊性有孔虫化石群
 東北大理地質古生物教室報告 51. p1~45

頑火輝石オリブ岩分析値

静岡県志太郡朝比奈村青羽根

千葉県安房郡鴨川町

	水を除き換算		水を除き換算	
Si O ₂	37.82	43.31	37.67	43.20
Al O ₃	1.32	1.51	0.43	0.49
Fe ₂ O ₃	3.78	4.33	4.78	5.48
Fe ₂ O	2.88	3.30	3.39	3.89
Mg O	36.54	41.84	38.93	44.65
Ca O	2.60	2.98	0.90	1.03
Na ₂ O	0.74	0.85	0.43	0.49
K ₂ O	0.09	0.10	0.09	0.10
H ₂ O (+)	11.26	-	11.26	-
H ₂ O (-)	1.44	-	1.48	-
Ti O ₂	tr	-	tr	-
Mn O	0.20	0.23	0.12	0.14
Cr ₂ O ₃	0.42	0.48	0.17	0.19
Ni O	0.94	1.08	0.30	0.34
P ₂ O ₅	tr	-	tr	-
合計	100.03	100.01	99.95	100.00
分析者	大西 智		鮫島輝彦	
cd	0.56		0.56	
ab	6.24		1.68	
an	-		-	
wo	5.39		1.87	
en	7.38		14.80	
fs	0.32		0.51	
ac	-		1.71	
fo	58.62		57.60	
fa	2.71		2.22	
mg	5.49		6.06	
cr	0.63		0.25	

瀬戸川累層群中の超塩基性岩分布図

